

No.	圏域	大項目	中項目	項目	意見・質問等の概要	回答の概要	その後の措置状況等	担当課
1	01松江	03地域保健対策	01がん検診・ワクチン	健康推進課発行のパンフレットについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在のがん検診パンフレットは内容が物足りない。誤解を招いたり、不十分な情報提供が多いように感じる。</li> <li>・乳がんパンフレットで危険度大中小という表現は良くない。若い人にもがんがあることをもっとPRして欲しい。中高生の教育にも力を入れて欲しい。あたかも性交渉が悪いことのように思わせる表現も適切でない。</li> <li>・昨年、県でポスターも作成したが、送ってそのままになっているので、貼るところまで確認して欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子宮頸がんのパンフレットについては、各機関にもご意見を頂き、まず簡単に読みやすいと言うことを主眼に作成した。ご指摘のとおりこのパンフレットを活用して啓発を行って頂くには物足りない内容もあるかもしれない。また、乳がんパンフレットについても、誤解を生じること考えられるので、今後パンフレットを作成するに当たり、ご意見をもとに目的や内容を検討し作成することとしたい。</li> <li>・中学生や高校生を含めた若い世代への教育も大切である。いろいろな機会を捉え、啓発を行っていききたいと思う。今後ともご協力をお願いしたい。</li> <li>・ポスターの件については、了解した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成22年度国補正予算で子宮頸がん予防ワクチン接種に係る助成制度が創設された。</li> <li>・県では、中学生用、高校生用、保護者用の3種類のリーフレットを作成したが、ご要望の意見を参考にして内容等を検討した。</li> </ul>	健康推進課
2	02雲南	03地域保健対策	01がん検診・ワクチン	子宮頸がんワクチン等の接種について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子宮頸がんワクチンは昨年日本で認可されているが、予防接種法の定期接種にはなっていない。ヒブワクチンも同様。これらの接種費用を各自治体でなく、国で負担するよう要望してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在厚生労働省の予防接種部会において、HPV、ヒブと肺炎球菌の3種類のワクチンについて、予防接種法の定期接種の疾病対象にするかどうかについての検討が進められている。</li> <li>・県の動きとしては、6月議会において国に対しての意見書の提出が行われたところ。県としても議会と連携を図りながらHPV等のワクチン接種について公費助成されるよう国に働きかけていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子宮頸がん予防、ヒブ（インフルエンザ菌b型）、小児用肺炎球菌の3種類のワクチンについて、平成22年度国補正予算でワクチン接種に係る助成制度が創設された。</li> </ul>	健康推進課
3	02雲南	03地域保健対策	01がん検診・ワクチン	HPV併用検診検査について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HPV検査は、現在県内9市町で助成が行われているが、島根県全域で実施できるよう県独自の助成も含めて検討してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H19、20年度に出雲市、斐川町でモデル事業に取り組んだところ。特に低迷していた若年層の受診者数の増加が見られ、費用対効果の点でも優れた検査であることが確認されている。</li> <li>・平成22年度は県内17市町村で併用検診の実施体制を整備し、うち11市町で公費助成を実施、県内での取り組みが広がっている。</li> <li>・雲南市でも、有効かつ効果的なHPV併用検診の実施に是非取り組んで頂きたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HPVの併用検診については、実施市町村、公費助成市町村とも平成23年度はさらに増える見込である。</li> <li>・なお、子宮頸がん予防ワクチン接種に係る助成制度が創設されたが、ワクチン接種に加えて検診受診の重要性等についての理解を深めることも大切であり、啓発用リーフレットを作成し配布した。</li> </ul>	健康推進課
4	04県央	03地域保健対策	01がん検診・ワクチン	子宮頸がんワクチンについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子宮頸がん予防ワクチンの実施について、自分の医院ではまだ2例のみ。自己負担金が高額のためか。</li> <li>・是非公的に支援し、小学校高学年で全員実施できるよう対応策を講じて欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子宮頸がんやヒブなどいろんなワクチンの議論がある。昨年頃認められ、関心が高まっている。</li> <li>・しかし、高額なためお金に余裕のある人でないと受けられないという議論がある。</li> <li>・また、検診と共に行っていくという事も必要だし、中学生、小学生への教育も必要。そういうものが一体となった、どういう接種が一番良いのかという議論をまとめてやっていく事が重要。</li> <li>・県議会でも議論されており、前向きに検討していくし、国においても議論されている事を注視し、産科医師の皆さんにもご支援頂きながら、議論を進めているところである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子宮頸がん予防ワクチンについては、平成22年度国補正予算でワクチン接種に係る助成制度が創設された。</li> <li>・平成23年4月以降は県内全市町村で接種事業が実施されることとなっており、自己負担は無い。</li> <li>・また、ワクチン接種に加えて検診受診の重要性等についての理解を深めることも大切であり、市町村や教育関係者向けの啓発用リーフレットを作成し配布した。</li> </ul>	健康推進課

No.	圏域	大項目	中項目	項目	意見・質問等の概要	回答の概要	その後の措置状況等	担当課
5	05浜田	03地域保健対策	01がん検診・ワクチン	任意予防接種の費用補助制度の導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>肺炎球菌ワクチン、子宮頸がんワクチン、小児用髄膜炎ヒブワクチンなど、任意の予防接種を受けられるようになった。</li> <li>それぞれ効果があるが高額であり接種を受けるのが難しい。</li> <li>多くの方が接種を受けられるように公費補助をお願いしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在、厚生労働省予防接種部会において、HPV、ヒブワクチン、肺炎球菌の3ワクチンについて、感染症の発生状況やワクチンの効果、予防接種法の定期接種の対象疾病とするかどうかについて検討が進められている。</li> <li>平成22年6月定例県議会において、国に対して、子宮頸がんワクチンについてワクチン接種の公費負担を求める意見書を提出するよう可決されたところであり、議会と連携を図りながら、定期接種の対象疾病とするとともに公費助成するよう国へ働きかけていく。</li> <li>そのほかの2ワクチンについても、国の検討状況や他の自治体の動向を見守りながら、いろいろな方の意見を伺いながら今後検討することが必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、肺炎球菌の3ワクチンについては、平成22年度国補正予算でワクチン接種に係る助成制度が創設された。平成23年4月以降は県内全市町村で接種事業が実施予定であり、対象年齢の接種に関しては自己負担は無い。</li> </ul>	健康推進課
6	05浜田	03地域保健対策	01がん検診・ワクチン	がん検診受診率について	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域老人保健事業報告を調べると、浜田市を含む西部地域のがん検診受診率が低い。受診者が低い理由について把握すべきではないか。</li> <li>簡単なアンケートでも作るうとほっとサロン浜田で考えているところ。</li> <li>島根県立大学短期大学出雲キャンパスの学習報告会で、がん検診を受診しなかった理由が報告されていた。</li> <li>教育委員会の協力を得るなどして子どもの頃からがん検診を受診するよう啓発したり、高齢者に対しても、がんは年齢に関わらずに罹患することを周知するなどしてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>がん検診受診率を上げることは非常に大きな課題。</li> <li>がんサロンの皆さんが学校に出かけていただいて話をさせていただく例もあるし、子宮頸がんのように若い女性が罹患するものもあるので、若いうちからがん検診の大切さを知っていただくことが重要。</li> <li>例えば、医師会にご協力いただき時間外の検診をお願いしたり、検診に出かけていくなど、いろいろなやり方を含めて全体として受診率を上げていく必要がある。</li> <li>国においても検診受診のクーポン券を出す取り組みが始まっており、市町村、事業所、医療機関、一緒になって進めていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業等への出前講座の実施、優良ながん検診啓発協力事業所の表彰等により働き盛り世代のがん検診に対する普及啓発を実施。</li> <li>マンモグラフィー検診機器や子宮がん検診車の整備等により受診しやすい体制づくりを行った。</li> <li>子宮頸がん予防対策事業として学生・関係機関、団体等と連携し積極的な啓発を行う。</li> </ul>	健康推進課
7	06益田	03地域保健対策	01がん検診・ワクチン	地域保健について	<ul style="list-style-type: none"> <li>がん検診受診率の実績は、10%程度だが、目標値の50%に近づけ、上げるにはどうしたら良いか。</li> <li>受診率向上は、健康推進課だけのことでなく、他課、他部局がどう関わっているか。縦割りの弊害が出ているのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>島根県のがん検診受診率は、全国平均と比較して低い状況にある。特に若い世代の受診が低調であり、受診者増に向けて各市町村や事業所と一緒に啓発に取り組んで参りたい。</li> <li>受診率50%以上の達成に向けて、各機関及び団体が一体となった啓発や取組の推進、効果的な検診体制の整備を進める。具体的には、がん検診啓発サポーターやがん検診啓発協力事業所の登録制度による啓発事業、マスメディアやイベント活用した広報等を実施。</li> <li>平成21年度のがん検診受診率は、速報値では、平成20年度と比べて上がっていると聞いている。また、今年度マンモグラフィーの検診車を西部地域に1台増加配備する予定であり、この検診車を使いながら速やかに検診が実施できる体制整備に努めて参りたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域医療再生基金を活用して、本年度予算でマンモグラフィ検診機器を県内の医療機関に合計3台、マンモグラフィ検診車と子宮がん検診車を各1台配備した。</li> <li>また、今年度の8月からは開業医が行う時間外子宮がん検診に対する助成事業も実施している。</li> </ul>	健康推進課

No.	圏域	大項目	中項目	項目	意見・質問等の概要	回答の概要	その後の措置状況等	担当課
						<ul style="list-style-type: none"> <li>健康福祉部としても、日頃より情報共有化に努めており、課題に対応する場合の連携についても、必要な場合は集まって協議するという事に努めているところ。今後もしも指摘のあった内容も含め、関係各課において連携に努めていきたい。</li> </ul>	回答のとおり	健康福祉総務課
8	06益田	03地域保健対策	01がん検診・ワクチン	子宮頸がん予防ワクチンについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>HPVワクチンは、子宮頸がんを予防するワクチンとして認知されている。邑南町を始め、助成をする自治体も増えている。益田市も来年度から助成実施に向け検討しているところだが、島根県の支援も含めた見解を伺いたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>HPVワクチンについて、子宮頸がんの発生に一定の予防効果がある事が確認され、平成21年10月に国内で認証された。</li> <li>しかしながら、ワクチン接種だけでは完全に子宮頸がんを予防する事は出来ず、ワクチン接種後も、定期的な子宮頸がん検診受診が必要。</li> <li>6月議会において国に対しての意見書の提出が行われたところ。県としても議会と連携を図りながらHPV等のワクチン接種について公費助成されるよう国に働きかけていきたい。</li> <li>また、市町村と連携し子宮頸がんの発生メカニズムの正しい知識、予防接種の意義、検診受診を含めたがん予防対策全般について啓発していきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子宮頸がん予防ワクチンについては、平成22年度国補正予算でワクチン接種に係る助成制度が創設された。</li> <li>また、ワクチン接種に加えて検診受診の重要性等についての理解を深めることも大切であり、市町村や教育関係者向けの啓発用リーフレットを作成し配布した。</li> </ul>	健康推進課
9	07隠岐	03地域保健対策	01がん検診・ワクチン	保健事業における健康診断の実施の町村の差	<ul style="list-style-type: none"> <li>島前地区3町村の健康診断や事業所検診において、町村ごとにかかなりの違いがある。</li> <li>J Aと隠岐の島町が提携して、個人負担を少なくする話を聞いた。</li> <li>町村によって、健康診断の自己負担額に差があることを県は承知しているか。また、どのような指導をしているのか。</li> <li>がん予防や健康保持の観点からすると条件は同じほうがよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各市町村で受診者を増やす工夫をされているが、検診受診者数は十分ではない。</li> <li>特定検診受診率は、県平均が36%に対し、隠岐の島町は26.4%で県平均より下回っている一方、海士町、西ノ島町、知夫村は県平均を上回っており、市町村によって差がある。</li> <li>関係機関、事業所等と連携し、特定検診受診率を上げるよう啓発していきたい。</li> <li>自己負担についても各市町村でそれぞれ取り組んでおられ差がある状況。</li> <li>県平均は1,000円弱であるが、隠岐は1,300円～2,000円程度で若干高めである。</li> <li>離島であるため高くならざるを得ないのではないかと。</li> <li>栄養士会の皆さんには、事業所や地域での検診時における指導や健康教室等ご協力をいただいております、引き続きご協力をお願いします。</li> </ul>	回答のとおり	健康推進課

No.	圏域	大項目	中項目	項目	意見・質問等の概要	回答の概要	その後の措置状況等	担当課
10	07隠岐	03地域保健対策	01がん検診・ワクチン	子宮頸がんワクチン接種に対する助成について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子宮頸がんに罹患するかなりの方がウイルスが原因であり、ワクチン接種によりかなり予防できる。</li> <li>・性交渉開始前の中学生ぐらいで3回接種する必要がある。</li> <li>・料金は、保険適用でないため、3回接種して4.5万円とかなり高額である。</li> <li>・県内で実施しているのは邑南町だけだと思うが、県として検討しているのかどうか伺いたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在県内で実施しているのは邑南町のみで、奥出雲町や雲南市でも同様の動きがある。</li> <li>・現在国において、HPVワクチン、肺炎球菌ワクチン、ヒブワクチンについて、予防接種法の対象となる疾病ワクチンのあり方について、構成科学審議会感染症部会予防接種部会で評価等の観点から現在議論が行われているところ。</li> <li>・助成制度の導入については、国の検討状況や他の自治体の動向を見ながら判断することになるが、現在は状況を注視している状況。</li> <li>・国に対する働きかけについては、6月議会で県議会として助成を要望する意見書が採択され、衆議院等に意見書の提出がされたところ。</li> <li>・県としては、知事が上京する機会に厚生労働省と意見交換を行うなどして要望していきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子宮頸がん予防ワクチンについては、平成22年度国補正予算でワクチン接種に係る助成制度が創設され、平成23年4月以降は県内全市町村で接種事業が実施予定であり、対象年齢の接種に関しては自己負担は無い。</li> </ul>	健康推進課
11	05浜田	03地域保健対策	02難病対策	サークル活動に係るバスの送迎について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年4回のサークル活動に参加するためには、歩けないので市に車を手配してもらい送迎してもらっているが、行政の経費削減により、車を出せないという状況になりつつある。</li> <li>・サークル活動が続けられるよう、今までの大型車ではなく少人数の車を借りることができるようお願いしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浜田市においては福祉バスが廃車になってから送迎サービスがなくなったこと、江津市においては財政難の折り継ぎが難しくなってきたことを聞いている。</li> <li>・昨年度同様の要望を受け、保健所と浜田市、江津市の保健・福祉担当者が集まって今後の対応策について相談されたところ。</li> <li>・江津市については、市内の集まりであれば江津市の公用車で送迎するということになり、保健所としても、患者会の開催場所を浜田市、江津市交互に開催するようにしたところ。</li> <li>・浜田市については、県浜田合同庁舎の公用車で送迎するなどできるだけ配慮をしているところであり、浜田市社会福祉協議会の福祉バスを利用できないかを含めて、保健所も一緒に協力依頼していきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浜田市社会福祉協議会については、保健所より福祉バスを利用することについて依頼したところ、協力を得られることになった。</li> </ul>	健康推進課

No.	圏域	大項目	中項目	項目	意見・質問等の概要	回答の概要	その後の措置状況等	担当課
12	05浜田	03地域保健対策	02難病対策	二分脊椎症について（医療面）	<p>・県内に25～16名の会員がいる。脊椎の部位により障がいは様々で、子どもたちの個人的なレベルも違っている。</p> <p>・受診のために病院を探すにも、県内、市内には、総合的に診療する病院や、診察する医師がないため、個人で診療科を探し病院を選択して通院している。交通費、家族の負担、子どもの精神的ストレスがあり、総合受診できる診療科、医師がいれば、子どもたちのためになる。</p>	<p>・二分脊椎症の治療は脳神経外科、小児科、小児外科、泌尿器科、整形外科、リハビリテーション科などを中心にチーム医療が必要とされ、さらには成長発達にもなって教育、就職など様々な問題を抱え、本人、家族とも負担が大きいことと推察する。</p> <p>・県内の医療機関では、総合的な治療としては県立中央病院、島根大学医学部附属病院に担っていただくよう考えているが、県外の専門医療機関を受診されている状況があることも承知している。そのような場合には、専門医療機関で治療方針の決定や薬を処方してもらい、紹介状により県内の医療機関で治療を継続できないかも合わせてご相談いただきたい。</p> <p>・県内医療機関での治療が困難な疾患のため、県外医療機関で手術のため入院せざるを得ない場合については、家族の経済的負担の軽減を図るため「障害児療養支援事業」という県独自の助成制度を設けており、交通費等助成や滞在資金が必要となった場合の貸付という助成制度を設けている。お住まいの地域から120km以上離れた遠方の医療機関へ入院される場合に、育成医療の対象となる児童の保護者が対象となる。制度は手術が必要な場合と、術前、術後の検査入院に限られており、これらの制度も活用していただきたい。同じく保護者が10日以上入院に同行する場合に、滞在資金の貸付制度も設けている。保健所等の窓口にご相談していただきたい。</p>	回答のとおり	健康推進課

No.	圏域	大項目	中項目	項目	意見・質問等の概要	回答の概要	その後の措置状況等	担当課
13	05浜田	03地域保健対策	02難病対策	二分脊椎症について（就職面）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車いす、上下肢装具を着用している子どもがほとんどで、学校施設等の改善に行政の協力が有り感謝している。普通学校に通学する子どもには、二分脊椎症でない子どもとの交流がスムーズにできるよう教育的配慮、教師のサポートをお願いしたい。</li> <li>・20歳前後や高校生では、将来自立し、社会にでていくために、住みやすい環境づくりの提供と進学、就職先、障がい児としてどういふことができるのか情報提供をお願いしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、障がい者の福祉制度改革の議論が進められており、その中の一つの大きな検討テーマとして、障がいというものを対象としてどう定義するのか議論されており、大きな関心を持ってその議論を見守っているところ。</li> <li>・施設から地域生活を前提にしたものという流れは変わらないと考えるので、地域の中で障がいのある方もない方も等しく生活していける環境をつくるノーマライゼーションを実現するために、それぞれ異なる特性を持つ障がいをよく理解するような普及啓発が大切であり、これからも取り組みを進めたい。</li> <li>・また、地域での生活を前提として一層の福祉サービスを充実していく必要がある。</li> <li>・障がいのある方の就労を促進するために、各圏域に障害者就業・生活支援センターを設置しており、障がいのある方の就労支援をしている。また、障がいのある方もできるだけ安心して仕事についていただけるよう、民間企業への実習の促進を行っているところ。</li> <li>・就労については、国全体の取り組みが大切であり、障がい者雇用促進法制が充実するのが重要。</li> <li>・県では啓発活動や、障がいのある方の就業状況を啓発用フリーペーパーでまとめ広報したり、障がい者雇用に積極的な企業をPRしている。</li> </ul>	回答のとおり	障がい福祉課
14	07隠岐	03地域保健対策	04たばこ対策	禁煙対策について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・隠岐汽船の船内は喫煙場所が指定されているが、たばこの煙が外に流れでていく。</li> <li>・また、集会の休憩時に外にでて吸われたり、学校敷地内は禁煙ということで、先生が学校の外にでて出かけていって吸われるようだ。</li> <li>・吸う方が配慮される場合はよいが、配慮がされない場合があると思う。</li> <li>・県はどのような対策をされているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県・市町村の所有する施設の分煙状況について今年5月に調査を実施。</li> <li>・県全体では、建物・敷地内禁煙をしている施設が増加。</li> <li>・小中学校は、前回平成17年度は調査していないが、今回はほぼ100%敷地内禁煙を達成。</li> <li>・県平均と比べ隠岐圏域については、喫煙場所を指定する、施設の外に喫煙スペースがある、煙を吸い込む機械を設けるなどの施設が多いという印象。</li> <li>・県としては、仕切られた空間でのみ禁煙を可能とする分煙を徹底するという方針。</li> <li>・今後は、受動喫煙の健康被害を考慮し、公共施設の禁煙化に向けた情報発信の充実を行いながら、県民の皆さんに受動喫煙防止に対する意識を高めていただけるよう取り組みを進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県は、公共施設の全面禁煙に向けた率先行動として、県庁内（地方機関を含む）建物内禁煙を今年度5月末に施行する。</li> <li>・今後も公共施設等の受動喫煙防止の取り組みとして、喫煙場所を出入口から離れた場所に設置する等の配慮をお願いする。</li> </ul>	健康推進課
15	03出雲	03地域保健対策	05その他	島根県歯と口腔の健康を守る8020推進条例について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・島根県歯と口腔の健康を守る8020推進条例が制定された。</li> <li>・資格を有して現在働いていない方がかなりいると思うが、圏域ごとにニーズ、特色がかなり違うので、人材確保は各保健所をお願いした</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成22年3月に8020推進条例が施行され、県における歯科保健の位置づけが明確となり今後歯科保健対策の推進に力を入れていく。</li> <li>・歯科医師会とともに島根県歯科衛生士会にご協力いただき、事業の推進に努めていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健所所在宅歯科衛生士の確保について啓発を実施した。</li> </ul>	健康推進課

No.	圏域	大項目	中項目	項目	意見・質問等の概要	回答の概要	その後の措置状況等	担当課
16	03出雲	03地域保健対策	05その他	歯科衛生士の人材確保について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在歯科衛生士を有する保健所は県内2か所だが、東西2名づつぐらい配置されていると、連携もとれ、事業、イベントでも一緒にやっていくことができよ。</li> <li>・各保健所で歯科衛生士の掘り起こしをお願いしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、歯科衛生士は4名採用されており、歯科医師の配置の関係や中央病院への配置から、保健所には2名位置されている。</li> <li>・配置については検討していきたい。</li> <li>・人材発掘に関しても、歯科衛生士会、保健所とともに重点的に取り組んでいきたい。</li> </ul>	平成23年度は、松江、浜田の保健所に加え、出雲保健所に歯科衛生士を配置した。	健康推進課
17	03出雲	03地域保健対策	05その他	高齢者の健康維持について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・85歳以上の方で健康でない姿が多いように思われるので、これらの方の健康をいかに維持していくかが重要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般論として、嫌煙支援、運動習慣をつける、適切な飲酒をする、定期的な血圧管理、糖尿管理など、年齢に関わらず健康づくりを推進することが大切。</li> <li>・また、何でもやってしまうと、かえって自立できなくなるので、そうならない取り組みが大切であると認識。</li> </ul>	回答のとおり	健康推進課
18	05浜田	03地域保健対策	05その他	歯と口腔の健康について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近年、歯と口腔の健康と全身の健康についての関わりを示す多くの学的根拠が報告され、歯と口腔の健康づくりには全身の健康の維持増進が大きく寄与していることが明らかになってきた。</li> <li>・歯と口腔の健康を守るために不可欠であるフッ化物洗口や歯科検診や保健指導について、今後、どのように取り組まれるのか伺いたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「島根県と歯と口腔の健康を守る8020推進条例」が平成22年3月定例県議会で可決され、その条例に基づき、今年度県内の実態調査を予定している。</li> <li>・今回行う調査は、対象年齢を拡大した大規模調査であり、結果は次期歯科保健計画へ反映させ、新たな事業構築や進捗管理を行う。</li> <li>・フッ化物洗口や歯科検診・歯科保健指導等は、実施主体が市町村に移行しており、県は市町村に対する支援という形で関与。</li> <li>・平成17年度にフッ化物応用の手引き書を改訂し、これを活用して専門的かつ技術的支援を保健所で行っており、フッ化物の歯への塗布も含め、今後も継続支援を図っていく。</li> <li>・また、平成22年3月には“乳幼児期の歯科保健支援マニュアル”を作成し、検診や保健指導をより充実していくこととしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・条例に基づいた実態調査の結果を報告書にまとめている。平成23年4月には、関係機関等へ配布予定。</li> <li>・H23年度には事業所の歯科健診体制整備事業を新規事業として実施し、壮年期における歯周疾患対策を推進していく。</li> </ul>	健康推進課